

第3学年1組音楽科学習指導案

平成16年6月11日(金)

指導者 郡山 祐介

1 題材 歌うの大すき

2 目標

- 遊びや身振りに親しみ、歌うことへの関心を高め、表現活動に進んで取り組もうとする。(興味・関心・態度)
- 遊びや身振りを取り入れて、表現の仕方を工夫することができる。(思考・判断)
- 遊びや身振りを取り入れて歌ったり、簡単な動作を入れて表現することができる。(技能・表現)
- 楽譜と階名の関係を理解し、楽しく歌い合わせることができる。(知識・理解)

3 教材

曲名	調	拍子	作詞者・作曲者・編曲者
茶つみ	ト長調	4/4 拍子	文部省唱歌
この山光る	ハ長調	2/4 拍子	阪田 寛夫 ドイツ民謡 橋本 龍雄
ドレミの歌	ハ長調	2/4 拍子	ベギー葉山 リチャード・ロジャーズ

4 指導観

- 本題材は、学習指導要領の A 表現の (1) のア、(2) のイを主な内容としている。友達と一緒に歌ったり、歌に合わせて身振りを工夫したり、手合わせをしたり楽しく歌う活動を通して、歌う喜びを味わい、音楽を進んで楽しめるようにすることをねらいとして設定したものである。

中学年の児童は、心身の発達が著しく、リズム感の発達に加えて旋律の美しさに対する感受性も増してくる。そこで、低学年での階名で模唱や暗唱したり、リズム譜に親しむ活動を基盤とし、拍子や階名を楽譜から読み取る力をつけ、曲に合った表現ができるようになることが必要となってくる。そこで、歌に合わせて遊びや身振りを工夫し楽しんで歌う活動を設定した。

ここで取り扱う教材「茶つみ」「この山光る」「ドレミの歌」はどれも親しみやすく、曲の特徴や雰囲気をとらえやすく楽しく歌える曲である。また、簡単な手遊びや身振りを取り入れやすいため、児童が主体的にその曲調に合った表現を工夫しながら楽しく学習内容を深めていくために適切な教材である。

このような、学習活動を行なうことは、音楽に進んで関わり、学習に対する意欲を高めながら音楽経験を生活の中に生かす態度と習慣を育てる上で意義深いものである。

- 本学級の児童(男子19名、女子16名、計35名)は、音楽の学習を大変好んでおり、取り組みも意欲的である。特に、歌うことには高い関心をもっており、朝の会でも日常的に歌われている。また、自分の思いを生かして表現活動に取り組むことができるようになってきている。グループ活動においても、自分の意見を言ったり、相手の意

見を聞いたりしながら進められるようになってきた。しかし、自分の思いをもつことや思いにそって活動することが十分できない児童もいる。

- そこで、本題材の指導にあたっては、歌に合わせて身振りをつけたり、手合わせをしていく楽しさに気づくことで、歌うことへの関心を高め、そこから児童の表現力を高めていきたい。

本時では、五線やト音記号の名称や位置を知り、五線譜の位置によって音が違うことを理解させたい。そして、「ドレミの歌」の後半部分を階名で歌えるようにし、次時での後半部分での2部合唱や動作付けにつながるよう指導していきたい。

5 指導計画

各時のねらい	拍にのって歌ったり、遊んだりして楽しむ。		ふしの違いを感じ取り、お互いの声を聴き合って歌う。		楽譜と階名を理解し、楽しく歌い合わせる。	
次	1		2		3	
時	1	2	3	4	5(本時)	6
茶つみ	■	■				
この山光る			■	■		
ドレミの歌					■	■

6 本時の目標

- 楽譜と階名を理解し、「ドレミの歌」の後半部分を階名で読むことができる。

7 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料・準備
1 前時を振り返り、「茶つみ」「この山光る」を歌う。	・手遊びや、身振りを取り入れ本時への学習意欲を高めさせる。	・手遊び、身振りをしている。	歌詞カード
2 五線と階名に関係に気づく。 ・五線やト音記号の名称を知り、五線と階名に関係に気づく。	・五線、ト音記号、階名の名称を確認し黒板に貼り付け、視覚的にとらえさせる。 ・階名の位置を確かめながらオルガンで階名と音との関係に着目させる。	・五線と階名について理解している。	
3 めあて ドレミファソラシドをおぼえて楽しく歌おう。			めあてカード
4 五線上に置かれた	・五線譜上に音符を貼り、階	・階名を理解してい	音符カー

音符を読む。 5 「ドレミの歌」の前半部分を歌う。 ・児童を7グループに分けドレミ…の一音を担当して歌う。 6 「ドレミの歌」の後半部分を階名で歌う。 ・階名をゆっくり確かめながら歌う。 ・グループに分かれ、一音を担当し歌ってつなげる。 7 学習のまとめ ・めあての確認 ・次時の見通し	名を当てさせる。 ・各グループで歌い、担当部分を歌う責任感をもたせる。 ・階名を一つ一つ確かめることができるようにゆっくりと歌うようにさせる。また、分からない児童がいたら、左側の五線譜を見るように助言する。 ・リズム、音を正確にとれるようにさせる。 ・最後に一度通して歌い、本時の学習を振り返らせる。 ・次時の見通しをもたせることで、意欲づけをはかる。	る。 ・担当の部分を歌えている。 ・階名で歌っている。 ・正確に音をとっている。	ド後半部分の楽譜
---	---	---	-----------------

8 板書計画

歌うの大すき めあて ドレミファソラシドをおぼえて楽しく歌おう。 五線譜	歌詞と楽譜
--	--